

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大鹿歌舞伎映像活用事業
事業主体 (連絡先)	大鹿村 (大鹿村教育委員会 0265-39-2100)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,650,000円 (うち支援金:1,320,000円)

事業内容

大鹿村に伝承されている重要無形民俗文化財「大鹿歌舞伎」の歴史などの概要や伝承の様子、代表的な演目等を映像としてまとめ、地域の学習活動に活用した。

- ・大鹿歌舞伎映像資料作成
- ・公民館等のふるさと学習講座での活用
- ・小中学校での郷土の伝統芸能学習での活用
- ・ろくべん館のミニシアターコーナーで館内放送モニターにより放映



【公民館等のふるさと学習講座】

【目標・ねらい】

- ①公民館等で学習活動に活用
- ②小中学校の授業に活用
- ③民俗資料館で活用・PR

事業効果

大鹿歌舞伎の実際の伝承の様子を撮影した記録映像を地域で活用し多くの住民に視聴されることで、大鹿歌舞伎の文化財としての意義や価値をさらに認識する契機となり、後世に伝え残す伝承の輪を広げることができた。

- ①公民館等のふるさと学習講座での活用
  - ・公民館ふるさと学習講座 1回 16人
  - ・デイサービスひまわり会 1回 14人
  - ・NPO法人豆大福 1回 11人
- ②小中学校での郷土の伝統芸能学習での活用
  - ・大鹿小学校(社会科学習) 1回 9人
  - ・大鹿中学校(大鹿タイム) 1回 4人
- ③ろくべん館での館内放送モニターによる放映  
視聴者 128人

※自己評価【B】

【理由】

一定の効果はあったが、コロナ禍の影響により、大鹿歌舞伎の本来の姿を映像記録として作成できなかった。

今後の取り組み

大鹿歌舞伎の演目の中で大鹿村のみに伝承されている「六千両後日文章 重忠館の段」がある。この演目に使用する衣裳・かつら・大道具の紹介映像の記録や、台詞・所作・義太夫演奏・演出方法などといったそれぞれの分野での詳細な映像記録を作成し、これをみれば「六千両」の全てがわかるといった後世の伝承者のための参照資料として活用していく。